調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[10] ヘキサクロロシクロペンタジエン</p>	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A["水質試料 1.0L pH5となるよう アスコルビン酸を添加"] --> B["溶媒抽出 塩化ナトリウム 30g (淡水のみ) ジクロロメタン 1回目 100mL、2回目 50mL 振とう 各回10分間"] B --> C["脱水 無水硫酸ナトリウム"] C --> D["濃縮 ロータリーエバポレータ 2～3mLまで"] D --> E["転溶 ヘキサン 2～3mL ロータリーエバポレータ及び窒素 パージで 1mLまで濃縮"] E --> F["カラムクリーン アップ LC-Si Glass Tubes 500mg 溶出：ヘキサン 5mL"] F --> G["濃縮 窒素パージ 1mLまで"] G --> H["GC/HRMS-SIM- EI"] I["内標準物質添加 ナフタレン-d8 100ng p-ブロモフルオロベンゼン 100ng"] --> G </pre> <p>(注) GC/HRMS-SIMに変えてGC/MS/MS-SRMで定量した例があった。 「令和元年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/HRMS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】 (ng/L) [10] 0.15</p> <p>分析条件： 機器 GC：Agilent 6890N MS：Agilent 5975C 又は GC：Agilent 7890B MS：Agilent 7010B 他 カラム J&W HP-5ms UI 30m×0.25mm、0.25μm</p>